

100歳 おめでとうございます



北川ミチエさん

大正12年8月2日生まれ（志佐・白浜）

松浦市で生まれ育ち、20歳頃に結婚。若い頃から農業に従事していました。

裁縫が得意で、自身で洋服を作っていたそうです。

現在は市内のデイサービスで友人と会話したり、計算問題を解いたりと毎日楽しく過ごしています。

敬老の日に寄せて

敬老の日を迎えるにあたり、松浦市民を代表して、皆さまのご長寿を心から喜び申し上げます。

ここ3年余りにわたり新型コロナウイルスのまん延に伴う行動制限により停滞していたさまざまな活動がようやく再開されるようになったところです。

敬老の日を迎えられる皆さまにおかれましては、戦後78年が経過した我が国において、現在の平和を築くために、戦争や戦後の高度経済成長など、激震の時代を経験され、それぞれにご家族や地域社会のため、松浦市の発展のために尽くしてこられたことに深甚なる敬意と感謝を申し上げます。次第でございます。

さて、令和5年7月末現在、本市における70歳以上の高齢者は6,344人であり、そのうち100歳以上の方が36人いらっしゃいます。皆さまには、地域の中で、さまざまな人とつながりを持ちながら、自分自身の持ち味を十分に発揮され、今後も活躍していただきたいと願っております。

一方で、少子高齢化の進行や働き手の減少など社会の枠組みが大きく変化しており、誰もが住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、たとえば人口が減ってもみんなが幸せに暮らせるまちを創るための取り組みが必要となっております。

そのため、本市では、市民と行政が今後の課題を共有し、共に行動する公共計画として「育つ・つながる・根をおろす」を基本理念とする「第二次松浦市総合計画」に沿ったさまざまな取り組みを積極的に進めております。

アフリカでは「高齢者が亡くなると図書館が一つなくなる」というそうです。文化は違いますが、どの国においても高齢者の豊富な経験や知恵は次代を導く貴重な財産だということです。本市が進めるまちづくりにおいても、皆さまの知恵や経験が大きな力になることは言うまでもなく、今後は皆さまの出演がさらに必要になってくると感じています。

皆さまには、これからも健康にご留意いただき、本市の発展に引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまの末永いご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉いたします。

令和5年9月吉日

松浦市長 友田 吉泰

松浦高校なぎなた部 インターハイで個人3位、団体5位の活躍

全国高等学校総合体育大会 なぎなた競技大会が8月5日～7日にかけて北海道千歳市で開催され、3年の濱崎さんが個人試合3位入賞。団体試合にて5位入賞を果たしました。出場者を紹介します。(敬称略)

【3年】

富野菜々美、濱崎明里、近藤智奈、成富百花、松口莉菜

【1年】
浦辺優花、阿部優亜



▲入賞の報告に訪れたなぎなた部の富野さん、濱崎さん、近藤さん、成富さん、浦辺さん、マネージャーの森山さん、内野さん（写真右から）。

松浦高校商業クラブ 電卓競技で全国大会、九州大会に出場

7月22日に第75回全九州高等学校ビジネス計算競技大会が熊本県熊本市で、7月25日に第70回全国高等学校ビジネス計算競技大会が神奈川県横浜市ので行われ、2人の選手が電卓競技の部 個人総合競技に出場しました。出場者を紹介します。(敬称略)

【3年】

濱田詩月、柿山慶樹

※なお、濱田さんは九州大会において、優秀賞を受賞されました。



▲試合で使用する電卓を持ち撮影をした濱田さん、柿山さん（写真右から）。2人は大会に出場した感想について「悔いを残すことなく戦うことができた。全国のレベルを肌で感じる貴重な経験となった」と語りました。

少林寺拳法長崎県大会 小学生の部で最優秀賞を受賞

6月25日に少林寺拳法第43回長崎県大会が諫早市にて開催され、北松福島道院拳友会所属の福島まひろさん（志佐小5年）が【単独演武】小学生黒・茶帯の部にて最優秀賞を受賞し、受賞の報告に市役所を訪れました。

同会代表の末武正男さんによると、所属拳士の最優秀賞受賞は約10年ぶりとのこと。福島さんは兄にあらがれて少林寺拳法を始め、小学校2年生から同会へ入会。週2回の練習を行い、現在は初段試験を控えています。



▲受賞報告を行った福島さんと末武代表（写真右から）。福島さんは県大会に出場した感想について「緊張したけど、久しぶりの最優秀賞をとれて嬉しい。次の大会でも頑張りたい」と語りました。